

もくじ

P.1 第37期アジア社会福祉従事者研修の実施状況

P.4 2022年度修了生福祉活動助成事業報告

P.6 育むプロジェクト 子どもたちからメッセージが届きました

ほか

第37期アジア社会福祉従事者研修の実施状況

3月14日に第37期アジア社会福祉従事者研修の研修生5名が来日してから、5か月が経ちました。37期研修生は3か月半の日本語学習を終え、第1回施設研修を実施。日本の福祉施設の現場を体験するとともに、日本の福祉関係者との交流を深めています。

□ 日本語学習

3か月半の日本語学習では、日本語の先生から丁寧に指導していただき、日常会話ができるまでになりました。習ったばかりの日本語を使って、お昼休みなどに全社協の職員との交流を重ねました。

3回にわたって行われたスピーチテストでは、それぞれがテーマを設定し、趣味や家族のこと、日本に来て感じたことなどについて発表しました。質疑応答にもしっかり対応しました。



スピーチテストの様子

□ 日本文化の体験・観光

5月の児童福祉週間にあわせ、全社協のある新霞が関ビルで、こいのぼり掲揚式が行われました。小倉将信少子化担当大臣をはじめ、関係種別協議会の方がた、近隣の保育園の園児らと一緒に、こいのぼりを揚げました。

6月には全社協職員と一緒に、箱根に研修旅行に行きました。ケーブルカーやロープウェイ、遊覧船など、たくさんの乗り物に乗るとともに、足湯などの体験もしました。

7月にはお抹茶体験をしました。自分で点てた抹茶を他の研修生に振る舞いました。また、七夕飾りに願い事を書くなど、日本文化も体験しました。



こいのぼりの前で



箱根研修旅行



抹茶体験

□ 自己紹介動画の作成

6月には、自己紹介動画を作成しました。母国での仕事や趣味について、2分から3分程度、スピーチしています。以下のQRコードから動画を見ることができますので、ぜひご覧ください。

呼称・国名	母国での仕事	自己紹介動画
チョイさん (韓国) 	韓国の中西部に位置する大田（テジョン）の Happywoori 福祉館で働いています。この施設では、主に発達障害者のリハビリテーションを行っています。子どもから高齢者まで、障害のある人を対象とした地域福祉の推進を目的として、プログラム開発や啓発活動、調査を行っています。	 https://youtu.be/ZNn2NnHZmKI
シンヅさん (台湾) 	台湾の北東部、宜蘭（ギラン）にある児童家庭扶助基金会で働いています。虐待の防止や経済的な困窮世帯への支援などを行っています。3年前から里親家庭で暮らす子どもの支援を担当し、広報活動や研修企画のほか、子どものアフターケアも行っています。	 https://youtu.be/tE4F27m1UOU
アイさん (タイ) 	タイの首都バンコクにある ttb 財団の fai-fai ラーニングセンターで働いています。現在は、児童発達支援センターで若者や地域住民を対象に音楽やアート、スポーツなどさまざまな活動を行っており、こうした活動を通じて子どもたちが生きる力を身につけられるよう支援しています。	 https://youtu.be/-qeDdd1SaAs
イスルさん (スリランカ) 	スリランカのキャンディにある、センカダガラ特別支援学校でダンスの教員をしています。この学校では、70人の盲ろう児が寮生活をしています。手話を使ったダンスレッスンを担当しながら、子どもたちの生活指導、職業訓練、スポーツ活動などを行っています。	 https://youtu.be/WwAJg3XFKy8
リズキさん (インドネシア) 	インドネシアの首都ジャカルタにあるソーシャルワーク・スケッチ財団で働いています。市役所などと連携しながら地域のニーズを特定したり、高齢者の健康チェックをしたりしています。また災害時には避難所で避難者のニーズの聞き取りを行っています。ボランティアに対する研修や啓発活動も行っています。	 https://youtu.be/xy9hoInzys0

□ 施設見学

6月に3カ所の施設見学をしました。研修生は日本の福祉施設や福祉制度に触れることで、本研修事業への意欲や日本の福祉への関心をさらに高める大切な時間となりました。お忙しいところ施設見学のご協力をいただいた法人の皆さまにあらためて感謝申し上げます。

(社福)村山苑 (東京都)

救護施設「村山荘」では、救護施設の役割等について説明を受けた後、入所者の日中の居場所でもある作業場や陶芸等の趣味の活動を行うスペース、居室等を見学しました。また、村山荘の隣にある福祉事業センターでは、就労継続支援事業所B型における作業の様子を見学しました。研修生からは、救護施設の入所者のおかれた状況、入所手続き、退所に向けた支援など、多くの質問が出されました。

(社福)興望館 (東京都)

認定こども園や学童保育クラブ等を見学しました。法人がこれまで大切にしてきた地域の方々とのかかわりについて説明を受け、子どもや子育て家庭を支える取り組み、地域の拠点としての福祉施設の役割等について理解を深めました。また、乳幼児から小学生までの多くの子どもたちと交流しました。



興望館の子どもたちと交流する37期研修生

(社福)六親会 (千葉県)

特別養護老人ホームと養護老人ホームを見学しました。利用者の状況に合わせ、さまざまな高齢者施設があることを知ることができました。また、地域包括支援センターが行う重層的支援体制整備事業について説明を聞き、高齢者に限らず、地域住民からの相談に包括的に対応する仕組みやその取り組みについて学びました。

第37期研修生5名は、7月18日から8月30日まで第1回施設研修を実施しました。次号では、それぞれの研修先での経験を報告します。

【第1回施設研修先】

チョイさん (韓国)	(社福) 三愛荘・群馬県
シンヅさん (台湾)	(社福) 至誠学舎立川・東京都
アイさん (タイ)	(社福) 中心会・神奈川県
イスルさん (スリランカ)	(社福) 東京光の家・東京都
リズキさん (インドネシア)	(社福) 暁谷福祉会・大分県

2022年度 修了生福祉活動助成事業報告

本事業は、アジア社会福祉従事者研修修了生が行う社会福祉事業等への助成を通じて、アジアの社会福祉の発展に寄与することを目的に実施しています。本号では、2022年度に助成事業を行った10事業のうち、4事業の概要を報告します。

エナ（フィリピン 34期）

所属団体 バハイ・トゥルヤン財団

**新型コロナウイルスの影響を受けた家族のエンパワメント
～心理的サポート、
金融知識、子育てサポート～**



所属組織では、子どもに対する虐待や暴力の防止活動に取り組んでいます。新型コロナウイルスのパンデミックによる影響等から不安や貧困等の課題が生じた家族を対象に、暴力等のトラウマに対する支援、お金に対する知識や能力の向上のための支援、子育て支援等の取り組みを行いました。

フィリピンでは虐待が増加し、社会問題になっています。所属組織では、家庭内の虐待を防ぐために、家族とその子どもたちを支援する活動を開始しました。研修等を通じた予防活動は効果的であり、家族全員がそろって参加する機会を増やしていきたいと考えています。そのため、家族を支援・育成していくためのプログラムを継続し、長期的にはより多くの家族のサポートにも活用していきたいと考えています。

ニー（タイ 36期）

所属団体

若者のためのルーム・ミット財団

障害児の職業訓練



所属組織では、障害のある子どもやその親に、教育支援や職業訓練を行っており、家庭訪問による子どもたちの発育の支援も行っています。以前から所属組織では障害児やその家族の社会的スキル向上のために職業訓練を行い、成果を上げてきましたが、本事業による支援を受けて、ニーズ把握により支援が必要であることが判明した地域に対しても、新たに事業を実施しました。

農作物の育て方に関するワークショップの開催や、絞り染めによるノート作成によって障害児とその家族の職業スキルを高め、所得を創出することができました。今後も引き続き子どもたちのスキルに応じた支援を行い、障害児と家族を支援していくとともに、SNS等を通じた手工芸品の広報にも力を入れていきます。

ヤヤット (インドネシア 22 期)

所属団体 光の地域福祉財団

所得創出とソーシャル・ヘルス
サービスの提供および子ども・
成人・高齢者の健康増進



所属財団では、低所得家庭の所得向上の取り組みを進めるとともに、子どもから高齢者までを対象とした社会サービスの促進を行っています。

本事業により、生活困窮にあり、新型コロナウイルスのパンデミックによって所得をさらに減らした人びとに、農業や牧畜、手工芸等の機会を提供しました。また、子どもから高齢者までを対象に、ソーシャル・ヘルスサービスを提供したり、ストレス・マネジメントを行ったりしました。

このプロジェクトにより、支援対象者の所得の増加や健康増進につながりました。

アーリヤダーサ (スリランカ 4 期)

所属団体 サハナサラナ財団

高齢者のメンタルヘルスと
健康の向上



所属組織では、家庭環境に恵まれない子どもたちのために、乳幼児の健康プログラム、児童福祉施設、障害者福祉施設、高齢者福祉施設の設立、若者向けのキャリア形成や所得創出プロジェクト等を実施しています。

本助成事業により、糖尿病等の病気を患っているものの、生活に困窮しているなどの理由から自分の健康状態を把握していない人たちに対し、スリランカ保健省の協力を得て健康調査を実施しました。その調査結果をもとに、対象地区に医薬品を提供することで、住民の健康レベルを高めることができました。

今回のプロジェクトの参加者を対象に家庭訪問を行い、引き続き彼らの健康状態の確認を含めた生活の質向上等、さまざまな指導・支援を提供したいと考えています。

アーリヤダーサさんは、4月10日に病気のため亡くなりました。ご冥福をお祈りいたします。

育むプロジェクト 子どもたちからメッセージが届きました

今年度からスタートした「アジアの子どもたちに寄り添い、育む」プロジェクトでは、アジア社会福祉従事者研修の修了生とのネットワークを活かし、各国で経済的困窮などにある子どもたちに、教育や就労の機会が得られるように支援しています。

「育むプロジェクト支援会員」を含む、国際交流・支援活動会員の皆さまのご協力により、初年度となる2023年度は、5か国・37名の子どもたちに、総額166万円の経済的支援を行いました。支援を受けたフィリピン、タイ、インドネシアの子どもたちから、修了生をとおして、感謝のメッセージが寄せられましたのでご紹介します。

フィリピン



第36期修了生のジュリエットさんをプロジェクトリーダーとし、4名の修了生たちが7名の子どもたちの支援をしています。さまざまな事情を抱えた子どもが学校に通い続けられるよう、学用品や交通費、給食費などの就学費用の支援をしています。

修了生が動画を作成しました。QRコードから動画をご覧ください。



<https://youtu.be/3K-4ANoxTK0>



フィリピンで支援を受けている子どもたちとその家族

タイ

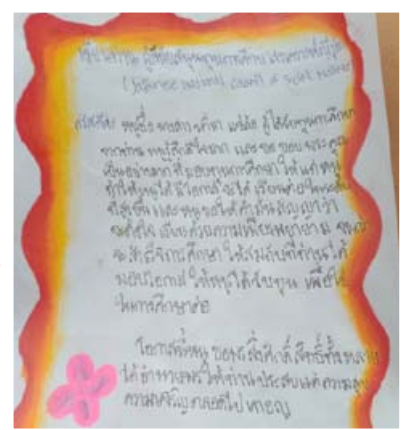


第4期修了生のソムチャイさんをプロジェクトリーダーとし、5名の修了生たちが7名の子どもたちの支援をしています。就労によって家族を支えたいと思っている子どもの、専門学校や職業訓練のための学費、制服などの支援をしています。



心から感謝しています。
私に教育を継続するための奨学金を提供していただき、本当にありがとうございます。
コースが終わるまで、一生懸命勉強します。
ナディア

より高いレベルで勉強する機会を得るために奨学金をくださり、本当にありがとうございます。卒業するまで一生懸命勉強することを約束します。
ラティマー

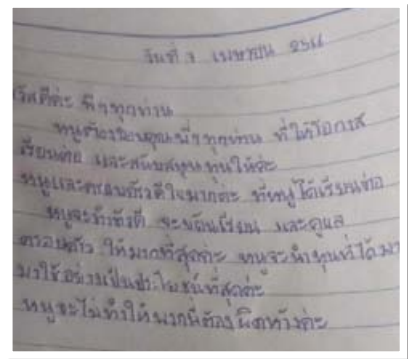




奨学金をくださったみなさまに感謝します。これから一生懸命勉強してがんばります。本当にありがとうございます。 スチャイ

勉強を続ける機会を与えてくださり、皆さんに感謝します。家族も私も、勉強を続けることができるとても幸せです。

私は良い人になり、一生懸命勉強して、できるだけ家族の世話をします。いただいた資金を有効に活用します。私は皆さんを失望させません。 プー



インドネシア



第23期修了生のナンダンさんをプロジェクトリーダーに、4名の修了生が5名の子どもたちの支援を行っています。複雑な家庭環境にある子どもの学費や制服、医療費、文具などの支援をしています。

修了生が動画を作成しました。サラーさんとアデ君は、QRコードから動画を見ることができます。

サラーさん

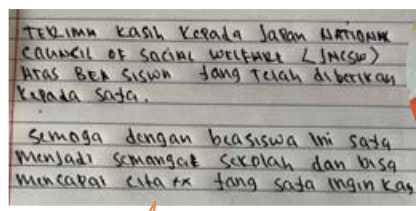


<https://youtu.be/yqJJdQ5hbgw>

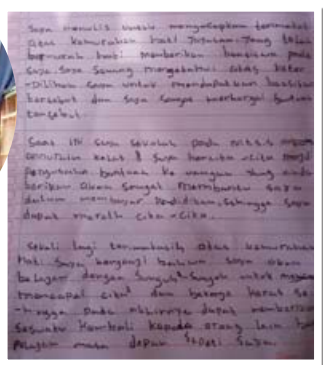
アデくん



<https://youtube.com/shorts/-wywoIAT0VM>



こんにちは。
この度は、奨学金をいただき、ありがとうございました。
この奨学金で、私は学校に熱心に通い、自分の望む目標を達成することができることを願っています。
ありがとうございました。 デイラ



この奨学金に選ばれたことを知り、とても嬉しく思います。本当に感謝しています。私は現在、中学校に通っており、ビジネスマンになりたいと思っています。奨学金は私の夢を実現するための教育費として非常に役立ちます。私は自分の目標を達成するために一生懸命勉強し、将来的には、私と同じような学生に対して何かを与えることができるように、一生懸命働くことを約束します。 ヨガ

子どもたちへのメッセージを募集しています

- 支援を行っている子どもたちに、ぜひ、日本の皆さまから応援のメッセージをお寄せください。いただいたメッセージは、修了生を通じて子どもたちにお届けします。
- 平易な日本語のメッセージであれば、修了生が母国語に翻訳して子どもたちに伝えます。
- イラストや動画でも結構です。詳しくは、事務局までご連絡・ご相談ください。

全国社会福祉協議会総務部国際福祉協力センター
TEL 03 - 3592 - 1390 mail z-kokusai@shakyo.or.jp

国際交流・支援活動会員募集のご案内

全国社会福祉協議会では、国際社会福祉基金委員会を設置し、社会福祉分野における国際交流、アジア地域の福祉向上のため、次のような事業に取り組んでいます。

アジア社会福祉従事者研修

毎年、アジアのソーシャルワーカーを招へいし、全国の福祉施設の皆様のご協力のもと、11 か月間にわたり社会福祉について学びを深める研修を行っています。

修了生福祉活動助成事業

アジア社会福祉従事者研修を終えた修了生が母国で取り組む福祉活動を支援しています。DV や虐待の被害を受けている女性や子どもへの支援、保健衛生の向上、農作業や小規模な事業による所得創出など、多様なニーズに向き合った事業が実施されています。

ネットワークづくり

研修修了生の母国等を訪ね、情報交換を行うスタディツアーや、5年に一度、修了生が一堂に会し、日本の福祉関係者との相互交流を図るセミナーを実施しています。

災害時福祉支援

近年、アジア地域では大規模な災害が多く発生しています。災害が発生した際は、研修修了生とのネットワークを活用し、現地での被災者支援活動を支援しています。

子どもたちの支援

研修修了生とともに、家庭の貧困等、さまざまな理由によって教育や就労の機会を得られない子どもたちに、経済的支援とともに、交流を通じた心の支援を行っています。

全社協では、国際交流・支援活動会員のご登録を随時受け付けています。

国際交流・支援活動会員へのお申し込みをされる方は、左記 URL より登録手続きを行ってください。追って、パンフレット等のご案内をお送りします。



<https://forms.gle/znx195SYVPVN9Wr9A>

会員区分・会費

- ア) 法人・組織会員 (1口5万円)：国際交流・支援活動（育むプロジェクトを含む）にご参加・ご支援いただける法人の方
- イ) 個人会員 (1口5千円)：国際交流・支援活動（育むプロジェクトを含む）にご参加・ご支援いただける個人の方
- ウ) 賛助会員 (1口5万円)：主に経済的に活動を支援いただける法人・組織の方
- エ) 育むプロジェクト支援会員 (1口5千円)：育むプロジェクトにご参加・ご支援いただける法人・組織、個人の方

国際社会福祉基金委員会の開催報告

7月21日に国際社会福祉基金委員会（令和5年度第1回）を開催しました。新たな任期（2年間）として始まった本委員会では、前期に続き湯川智美委員長（全国社会福祉法人経営者協議会 研修委員長）、松下明副委員長（全国民生委員児童委員連合会 副会長）を選任するとともに、新たに高橋進副委員長（岩手県社会福祉協議会 専務理事兼事務局長）を選任しました。令和6年度におけるアジア社会福祉従事者研修（第38期）の実施や、今年度より創設された「アジアの子どもたちに寄り添い、育む」プロジェクトの継続実施、スタディ・ツアーの実施、国際交流・支援活動会員の募集等について協議し、各事業を推進していくことを確認しました。